

町会ニュース

第54号
H29.4.2
(発行)
箕土路町会



定期総会開催される 安全・安心な町づくりへ!

三月十九日(日)午後二時から町会館にて平成二十八年年度町会定期総会が開催されました。



〈議案〉
一、二十八年度活動報告
二、同会計報告

- 会計監査報告
 - 各団体監査報告
 - 三、二十九年度新役員承認
 - 四、平成二十九年年度活動計画
 - 五、同予算
- の五案件が上程され可決承認されました。ここに改めて総会出



席者をはじめ関係各位にお礼申し上げます。安全・安心な町づくり施策の一環として発足



う工夫を凝らしまた防災減災をテーマとする役員・評議員研修の実施を行っていきます。町民の皆様方に「箕土路はええ町や。ほんまに住んでよかたなあ」と思っていただけのような町会一同活動してまいります。



各団体の連携と町民皆様方のご協力、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

顧問
吉田 篤



四日の予定

- 二日目 広報物配布
- 九日目 第一回評議員会
- 各団体顔合わせ会
- 十六日(日) 追悼慰霊式
- 三十日(日) 広報物配布

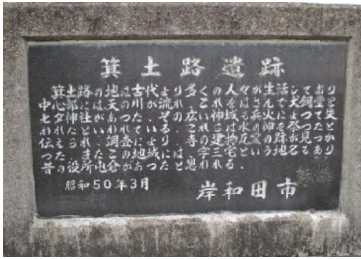


街角散歩

箕土路遺跡
について

昭和四十六年国道二十六号線建設工事中に、縄文時代中期から晩期にかけての瓜型土器が発見されたことから、箕土路遺跡は注目された。

昭和四十九年区画整理事業に伴い、小字「犬飼」に当たる約四千㎡(現在の十四組を中心とする地域)で発掘調査が行われた。犬飼堂廃寺遺構は検出されなかったが、瓦窯二基、溝、土杭、井戸二



基等の遺構や須恵器(七世紀中頃の杯)土師器(八〜九世紀の椀)、瓦(平安時代後期)等多数の遺物が発掘された。また、一つの井戸からは「泉錦」と墨書された木簡や小型鎌が出土した。なお、報告書では、

現在の箕土路町の大半を箕土路遺跡と図示され、犬飼堂廃寺遺跡はそのごく一部である。

(平成二十五年 岸和田遺跡調査会刊行
「箕土路遺跡(犬飼堂廃寺)・磯之上遺跡」より抜粋、引用)

町会役員

- 平成二十九・三十年度
- 会長 白樫 裕
 - 副会長 松山 三津文
 - 近土 安孝
 - 三宅 正剛
 - 村木 茂満
 - 松井 勝己
 - 塚本 浩司

あとかき

平成二十九年度がスタートしました。新役員一同町民の皆様と共により良い町会を目指し頑張る所存です。皆様方のご理解ご協力よろしくお願致します。